

令和 8 年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

インターンシップ実習生との現地調査等について

令和 8 年 8 月 21 日 (金)

令和 8 年 8 月 21 日 (金)、宇都宮大学から来たインターンシップ生に対し、市営林道災害復旧災害現場の確認や、県営林内のコウヨウザン造林地の毎木調査等の実習を行った。

林道災害現場では、林道の基本的な知識、道路が大きく滑落した原因とメカニズム、復旧方法の選択、現場監督業務等について確認を行った。

また現場に至るまで、台風 13 号による倒木が多々あり、その片付けをしながら進んで行ったため、災害調査の概要も説明することができた。

コウヨウザンの造林地では、林業用アプリ m a p r y を用いてプロットを設け、毎木調査を行った。令和元年度に造林したコウヨウザンは、樹高 10.5m、胸高直径 23.0 cm と大きく成長しており、また県内の樹木では見られないその通直性は、今後の可能性が期待できた。

インターンシップ生は、林道や森林整備の重要性、それにかかわる林務行政を知ることができたとともに、車内において職場の雰囲気も知ることができたと満足していた様子であった。

今回のインターンシップ実習を通して、本県林務行政に更なる興味を持ち、新たな林務職員として入庁してくることを期待したい。



林道災害現場の確認



コウヨウザン造林との毎木調査